

# 簡単に入ったチャンスは、 生かせない。

「自分力」というのは、チャンスをつかんで、生かしていく力です。

あなたは今までの人生で、たくさんの方に出会ってきたはずですが、

でも、チャンスにたくさん出会った人が必ずしも成功しているわけではありません。

チャンスになかなか出会えなかった人のほうが成功しています。

めったにチャンスに出会えないから、チャンスの実重さがわかるし、チャンスをつかむ根性も持っています。

チャンスにたくさん出会っている人は、「どうせまた来るだろう」と思っているから、チャンスを手放してしまいます。

ありがたみもわからなければ、つかむ力もついてきません。

## 第1章 夢が見つかったら、努力が楽しくなる。

つかむ力とは、「ありがたみがわかる」ということです。

価値がわかることです。

価値がわからないものに対しては、つかむ力が弱くなります。

粘り<sup>ねば</sup>が弱くなってしまう。

同じものでも、すべての人にそのありがたみがわかるとはかぎりません。

自分より上のステップのものがあると、ありがたみは理解できないのです。

自分がレベルダウンしてくると、今自分がしていることのありがたみがわからなくなってしまう。

今、自分がしている仕事つまらないと言っている人は、仕事つまらないのではなく、その人がつまらないのです。

その人間の力自体がつまらないから、今している仕事のありがたみがわからないのです。

その人は、面白くない仕事をやっているのではありません。

今している仕事の面白さを理解できないだけです。

仕事を面白くする必要はありません。

面白さを理解できたら、今のままで楽しいはずですよ。

「ボクシングは面白くない」、「ボクシングには蹴りがない、寝技がない」と言っている人には、本当のボクシングの面白さがわかっていないのです。

「サッカーは手を使えないから面白くない」と言う人は、サッカーの面白さがわかっていません。

「相撲はかったるい」と言っている人は、相撲の面白さがわかっていないのです。

今あるものの面白さがわかったら、どこへ行っても楽しめます。

何かを変えるために必要なのは、「面白さを理解する力を自分につけることです。

それがわかれば、転職は必要なくなってしまう。

自分を  
高めるヒント

その②

簡単にチャンスをつかまないようにしよう。

「努力なしで売れるもの」に  
頼っていると、  
自分の価値をすり減らす。

「自自力」には2通りあります。

努力なしで手に入れたもの

努力して手に入れたもの

これは、どちらも「自自力」ですが、圧倒的な違いがあります。

努力なしで手に入れた価値は、どんどんすり減っていきます。

努力して手に入れた価値は減りません。

努力なしで手に入れると、なんとなく自分に力があるような錯覚に陥おちいってしまうのです。

「自自力」を誤解している人は、努力なしで手に入れた価値がすり減っていくことに

気がつきません。

努力なしで手に入れたもので一生食べていけるような気になってしまいます。

「コギヤルの援助交際」がいい例です。

コギヤルが援助交際をすると、そこそこのお金が手に入ります。

これは努力なしで手に入れたものです。

コギヤルを相手にするオヤジは、コギヤルの若さと体だけにお金を払うのです。

若さや体は、コギヤルが努力して手に入れたものではありません。

数年も待たずに若さは失われ、お金を手に入れることはできなくなります。

手に職をつけたり、経験を積んだり、苦労しながらノウハウを身につけたり、自力

で開拓する努力が大切です。

自分の努力で手に入れた価値を持たないかぎり、今は食べていけても明日はもう食

べていけなくなる可能性があります。

大人になっても、この差がわからない人が多いのです。

努力なしで手に入れたものと努力して手に入れたものの区別がつかない人がたくさん

います。

これでは、大人になっても援助交際しているコギャルと同じです。

手に職をつけたいと考えたら、必ず努力しなければなりません。

努力して手に入れたものは、すり減りません。

努力なしで手に入れたものは、毎日毎日食いつぶしていくことになります。

努力して手に入れたものが何割あり、努力しないで手に入れたものが何割あるかで、あなたの「自自力」の程度がわかるのです。

自自力を  
高めるヒント

その③

「努力して手に入れた力」を、  
増やそう。

≡≡≡  
「明日、必要とされるもの」を、  
今、努力して身につけておこう。

手に職をつけて食べていくことができるのは、「必要とされる人」だけです。  
いつ必要とされるかには2通りあります。

今、必要とされる

明日、必要とされる

明日、必要とされるためには、今、努力しておかなければならないのです。

今、必要とされることにも2通りあります。

過去に自分が努力して身につけたもの

努力しないで最初から持っていたもの

どちらも明日必要とされる保証はありません。

## 第1章 夢が見つかったら、努力が楽しくなる。

たとえ過去に努力して身につけたものでも、明日、必要とされるかどうかはわかりません。

昔のノートを使いながら大学で講義する先生がいます。

そのノートは、過去にその先生が努力して手に入れたものです。

しかし、来年、同じノートで授業はできません。

今は役に立っていますが、来年はもう役に立たないからです。

何年も同じノートで講義を続ける先生は、努力の蓄積を怠<sup>おこた</sup>っているのです。

明日、必要になるものは、今、努力して身につけることです。

昨日、努力したことは、明日はもう役に立たないのです。

今日までが限界です。

過去にたくさん頑張ったからといって、賞味期限はそんなに延びません。

今日か明日かぐらいの違いで、明後日<sup>あさって</sup>には切れてしまいます。

だから、明日のための努力を、常に今日、追加しておくことです。

一度頑張ったから終わりではありません。

努力を日々積み重ねていける力が「自省力」です。

毎日勉強を続けられる力が「自自力」なのです。

努力とは、言いかえると工夫と勉強です。

今日、必要とされているから明日も必要とされるといふことはありえません。

今日、努力しない人は、明日は必要とされない人です。

今日、努力していることが、今日、必要とされるものでもありません。

今日、努力していることが必要になるかどうかは、明日まで待たないとわからないのです。

たしかに、今、頑張っていることが今必要とされたら、努力のしがいがあります。

今、頑張っていることが今はまだ必要とされないところに、頑張ることのむずかしさがあります。

必要とされる時と努力しなければならぬ時には時差があるのです。

今、必要とされているものだけを準備していると、明日必要とされるものを準備する余裕がなくなります。

たとえばクラブのホステスさんが売上げを上げるために、お客様に体を提供したとします。

それは、今、必要とされているものを提供したにすぎません。

明日、必要とされるものではありません。

お客様の本当の意味での心の安らぎになり、相談相手になることが、明日、必要とされることなのです。

今、必要なものばかり追いかけ回していると、後手に回ることになります。

マーケティング戦略では、今、流行はやっているものばかり追いかけていると、常に後追いになってしまいます。

その商品は、明日になっても売れるとはかぎらないのです。

自分力を  
高めるヒント

その4

明日のための夕ネをまこう。